

平成30年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立総合研究機構 農業研究本部

畜産試験場

I 気象概況

7月下旬：平均気温は20.1℃で平年よりやや高かった。降水量は0.5mm（平年比1%）でかなり少なかった。

日照時間は37.1時間（平年比109%）で平年並みであった。

8月上旬：平均気温は17.6℃で平年よりやや低かった。降水量は37.5mm（平年比86%）、日照時間は49.4時間（平年比116%）でいずれも平年並みであった。

8月中旬：平均気温は16.2℃で平年よりかなり低かった。降水量は164.5mm（平年比198%）でかなり多かった。日照時間は30.8時間（平年比99%）で平年並みであった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温はやや低く、降水量、日照時間はいずれも平年並みであった。

	7月下旬			8月上旬			8月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温（℃）	20.1	18.5	1.6	17.6	19.6	△2.0	16.2	18.4	△2.2
最高気温（℃）	24.8	22.4	2.4	22.1	24.1	△2.0	19.8	22.4	△2.6
最低気温（℃）	15.7	15.0	0.7	13.4	15.7	△2.3	12.8	15.0	△2.2
降水量（mm）	0.5	72.6	△72.1	37.5	43.8	△6.3	164.5	83.2	81.3
降水日数（日）	1	5.5	△4.5	2	4.3	△2.3	6	5.4	0.6
日照時間（時間）	37.1	34.0	3.1	49.4	42.5	6.9	30.8	31.2	△0.4

注1) 各数値は旬の平均または合計。△印は減を示す。

注2) 平年値は前10か年の平均値。

Ⅱ 作 況

1. 牧草 採草型チモシー

2 番草 作 況 : 不 良

3 番草 作 況 : 平 年 並

事 由 :

<2 番草>

収穫時の草丈は、2、3 年目草地とも平年より 18cm 低かった。2 番草の乾物収量は、対平年比が 2 年目草地 79%、3 年目草地 75%と、いずれも平年より低かった。

7 月の気象が平年と比べ、上旬はかなり低温で寡照に推移し、下旬が高温で、降水量がかなり少なく、高温・干ばつ傾向で推移したことが一因と考えられた。

以上のことから、2 番草の作況は「不良」である。

<3 番草>

8 月 20 日現在の草丈は、2 年目草地、3 年目草地ともに平年並であった。

以上のことから、3 番草の目下の作況は「平年並」である。

調査項目	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2番草収穫日(月・日)	8.3	8.4	△1	8.3	8.3	0
生育日数 (日)	50	49	1	50	50	0
収穫時草丈 (cm)	76	94	△18	75	93	△18
生草収量 (kg/10a)	942	1,294	△352	822	1,212	△390
乾物率 (%)	23.7	21.7	2.0	24.1	21.7	2.4
乾物収量 (kg/10a)	223.3	282.2	△58.9	197.6	265.2	△67.6
同上平年比 (%)	79	100	△21	75	100	△25
1～2番草通算						
乾物収量 (kg/10a)	937.6	904.0	33.6	783.5	819.3	△35.8
同上平年比 (%)	104	100	4	96	100	△4
3番草草丈 (cm) (8月20日)	34	34	0	32	34	△2

注 1) 平年値は2年目草地が前6カ年のうち最凶年(平成29年)を除く5カ年の平均値、3年目草地が前5カ年の平均値。

2) △は早または減を示す。

2. サイレージ用とうもろこし

作 況 : 不 良

事 由 :

本年の雄穂開花期は7月31日、絹糸抽出期は8月1日で、雄穂開花期は平年より1日早く、絹糸抽出期は1日遅かったが、いずれも平年値の標準偏差内であった。8月20日現在の葉数は15.4枚で平年より0.7枚少なく、稈長は215cmで対平年差は-61cmであり、いずれも平年値の標準偏差の2倍を大幅に下回り、最凶年の同時期成績をも下回った。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	本年	平年	比較
雄穂開花期 (月. 日)	7.31	8.1	△ 1
絹糸抽出期 (月. 日)	8.1	7.31	1
稈 長 (cm)	215	276	△ 61
葉 数 (枚)	15.4	16.1	△ 0.7

注 1) 平年値は前7カ年のうち最豊年(平成26年)、最凶年(平成28年)を除く5カ年の平均値。

2) △は早または減を示す。

3) 供試品種は「チベリウス」。